

ギモン 03 つくばセンタービルや、つくば駅周辺のまちづくりの今後のこと、もっと知りたい!

市ホームページ「つくば中心市街地まちづくり戦略(つくば駅周辺基本方針)」▶



新たな市民活動拠点の改修はいつ始まるの?

今は、改修に必要な図面などを作る「実施設計」の段階です。その後、市議会に工事契約の承認をいただけたら、2022年秋から工事を始める予定です。

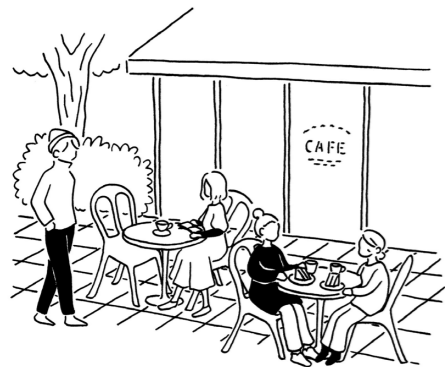
オープンするのはいつ?

工事は段階的に行うので、少しずつオープンしていく予定です。まずは、2023年秋ごろの一部オープンを目指して進めています。



オープンが楽しみだね!

そう言ってもらえると嬉しいです。市民の皆さんの交流の機会が増えるとともに、新たな時代の働き方を支える場所が機能することで、つくばセンタービルが、駅前にふさわしい持続可能都市の拠点として生まれ変わります。そして、ビルの改修だけでなく、つくば駅周辺エリア全体の魅力づくりについて考え、新たな人の流れを生み出していくような取り組みを進めていくことが重要だと思っています。今後の取り組みについては、決まり次第随時お知らせしていくので、広報つくばや市ホームページなどをご覧ください。



「つくば駅周辺をこんなまちにしたい」を実現させていくために。

今回は、つくばセンタービルの改修を取り上げましたが、ひとつの施設だけで考えても良い未来は生まれません。民間施設も含めたつくば駅周辺エリア全体で役割を分担し、それぞれが連携することで、人の流れを生み出し、にぎわいの創出やまちの魅力の向上を実現させていく必要があります。

現在、つくばセンタービルの改修を進めるとともに、つくばセンター広場や中央公園など、開放的な場所を活用したにぎわい創出などの検討も行っています。これらの取り組みを積み重ねていき、『つくば中心市街地まちづくりビジョン』で掲げるつくば駅周辺の将来像、「魅力と驚きが散りばめられ、訪れたいまち」「科学技術が日常に溶け込み、イノベーションが生み出されるまち」「地域に根差した持続可能なまち」を、市民の皆さんとともに創っていきます。



パソコン スマホ

でつくば市かわら版をいつでもどこでも!

市ホームページ



マチイロ



YouTube



今後の発行の参考とさせていただきますので、『もっと知りたい!つくば市かわら版 第7号』をお読みになった感想などをお寄せください(各号ごとのアンケートとなります)。



※個別の質問にお答えすることはできません。▶ <https://bit.ly/2TUucCw>



つくば市イメージキャラクター フックン船長

もっと知りたい!

第7号 ばん

つくば市 かわら版

今回のテーマは、動画でも連動してお知らせしています!



つくば市長 五十嵐立青

2022年3月15日

皆さんのギモンに市長が答えます

今回のテーマ つくばセンタービル改修のこと、もっと知りたい!

筑波研究学園都市の概成から約40年、つくばエクスプレスが開通し、駅を中心とした新たなエリアの整備が進む一方、公務員宿舎などの処分や、大規模商業施設の市内進出など、市を取り巻く環境は大きく変化しています。筑波研究学園都市の象徴として親しまれてきたつくばセンタービルも、周辺環境や社会情勢の変化への対応、一部の設備の老朽化などの課題を抱えている状況です。

今回は、それらの課題を解決するために進めているつくばセンタービルの改修をテーマに、駅前にふさわしい持続可能都市の拠点としてどのように生まれ変わっていくのかを紹介します。

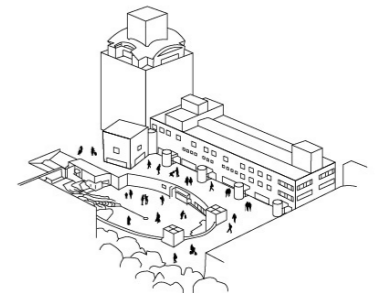
問 学園地区市街地振興課

ギモン

01 つくばセンタービルって、今、どうなっているの?

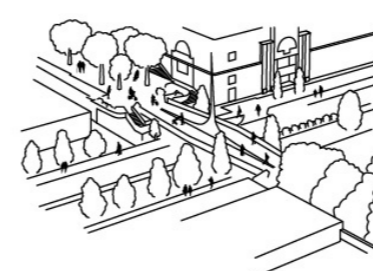
つくばセンタービルって、いつ、何のために建てられたの?

つくばセンタービルは、1983年、筑波研究学園都市の核となる施設として建設され、まちづくりの初期段階に必要な施設として、公民館やホール、ホテルや飲食店、銀行やオフィスなどが入りました。設計は、2019年に「建築界のノーベル賞」と言われるプリツカー賞を受賞された世界的に有名な建築家の磯崎新さんによるものです。



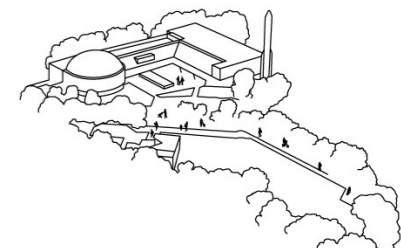
近年、にぎわいがなくなっているけど、どうして?

建てられてから約40年の間に、つくばエクスプレスが開通して都内に行きやすくなったり、市内に大規模商業施設が複数開業したりして、周辺環境が大きく変化してきました。そんな時代の変化とともに、当初の施設の役割が現在の社会情勢と合わなくなってしまったんです。1階のアイアイモールの飲食店が全て撤退するなどの出来事もあり、つくば駅周辺のにぎわいが失われたと言われて久しい今、新たな役割が求められています。



今までもにぎわいを取り戻すために何かやってきたの?

つくばセンター広場や中央公園など、開放的な場所が多いのがつくば駅周辺の特色です。市では、その特色を活かし、マルシェやさまざまなイベントを催すなど、多くの人にまちの魅力を楽しんでもらえるよう取り組みを行ってきました。最近の取り組みとしては、新型コロナウイルス感染症対策を講じた屋外の居場所「ソトカフェ」をつくり、ソファなどを置いて、くつろげる空間づくりを行っています。



次ページからは詳しい改修内容を紹介するよ!

ギモン 02

つくばセンタービルの改修計画のこと、もっと知りたい!


市はつくばセンタービルの新たな役割をどのように考えているの?


時代が変わっても、駅に近いという利便性や、建築物の文化的価値は変わりません。つくばセンタービルを時代の変化に合った施設として再出発させたい。市議会の皆さんなどと議論を重ねながらその方法を考えた結果、「市民の利便性が高く、多くの人が交流できる場」「つくばの持続的成長を支える新たな拠点」として生まれ変わらせることにしました。併せて「ソトカフェ」のような取り組みを行うことで、にぎわいも戻ってくると考えたんです。

2つの役割を持たせるために、具体的にどんな改修をするの?

つくばセンタービルは市だけの持ち物ではなく、ホテルオークラと筑波都市整備との3者の持ち物^{*}です。そのうち市が持っている部分を、3つの目標を立てて次のように整備します。

※市…ノバホール、イノベーションプラザ、吾妻交流センター、市民活動センター、アイアイモール、地下駐車場
ホテルオークラ…ホテル日航つくば
筑波都市整備…オフィス

改修全体の詳細はこちら 

③の詳細はこちら 

つくばセンタービル改修計画の主な内容

① 新たな市民活動拠点の整備

分散している施設(吾妻交流センター、市民活動センター、消費生活センターなど)を集約することで、空間を有効活用できるようになり、利便性が高くなります。ここには、和室や調理室、音楽室、印刷室のほか、フリースペースなどの市民活動を支える機能を整備する予定です。

② センター広場の機能性向上

多くのイベントに利用されているセンター広場を、よりイベント開催に適した空間に改修します(控室の整備、電源盤の増設など)。

③ 働く人を支援する場の創出

多様な働き方を支援するためのシェアオフィスやコワーキングスペース^{*}のほか、カフェなどを整備します。この部分は、市と地域の事業者が出資して設立した地域運営会社「つくばまちなかデザイン」が整備し、2022年4月に運営を開始する予定です。 ※さまざまな人が集まり共同で使う仕事場

そもそも、有名な建築家の建物に手を加えて大丈夫なの?

2019年、市の担当者が磯崎新さんに会って直接お話を伺う機会をいただき、「この建物が転用されていくことについて、それは建築の宿命。庭(センター広場)は500年くらい残っていくものである」という趣旨のご意見をいただきました。文化的価値が極めて高い建築物なので、センタービル・広場どちらも極力デザインを変えずに改修します。

市民が使える場所をひとつにまとめてしまうと、会議室などの部屋は減っちゃうんじゃないの?

安心してください。分散している施設を集約し、事務室や廊下などを共用することで、新たなスペースを確保できるため、部屋の数が増えることはありません。また、フリースペースも広く確保できるので、市民の皆さんが使える場所の面積は今よりずっと広がるんですよ。

吾妻交流センターなどは改修が終わるまで使えないの?

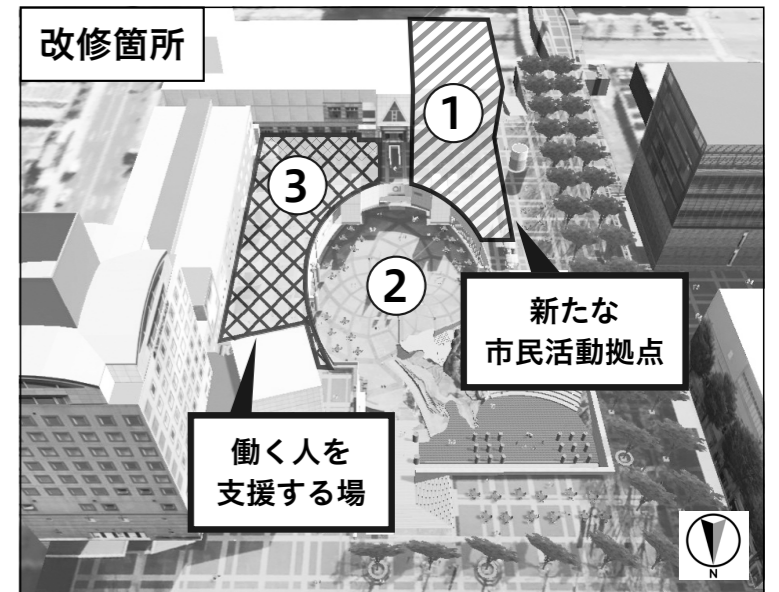
段階的に工事を進めることで、今の施設の閉鎖は移転時のみの最小限となる予定です。改修中でも、今の吾妻交流センターと市民活動センターは引き続き使えるので安心してください。



「働く人を支援する場」って、具体的にはどういう場所なの?

新たな市民活動拠点を右図①に整備する一方、右図③は「働く人を支援する場」として整備しています。この場所には、テレワーク^{*}やテレビ会議などの環境を整えたコワーキングスペースや、子連れ出勤などの多様な働き方をする人を支えるサービスのほか、多様な企業が入居できるシェアオフィスの整備が「つくばまちなかデザイン」によって進められており、2022年4月にオープンする予定です。

※情報通信技術などを活用して、本来の職場から離れた場所で働くこと



古い建物だから不便な場所もあるんだけど…

今回の改修はバリアフリーにも配慮して、新たにエレベーターや多機能トイレを設置する予定です。また、キッズスペースや授乳室も整備するなど、さまざまな方にとって使いやすい施設と感じていただけるようにしていきます。その他にも、ノバホールの小ホールを2階に移設し、課題とされていた防音機能も向上させ、文化施設としての機能も強化していきます。

改修計画は市だけで考えて決めたの?

いいえ、そんなことはありません。市で作った計画案に対して市民の皆さんから意見を募集したり、オープンハウス^{*}などを実施し、いただいたご意見を計画案に反映させていただきました。そうして2021年3月に作った改修案についてもご意見をいただきました。

※パネル展示などの資料により、検討過程にある情報を公開し、それらの情報をもとに、自由に質問や意見交換などを行う場

改修計画の内容に対して、市民などから反対の声はなかったの?

実は、これまでに紹介した改修計画の内容は、市民の皆さんのご意見を受けて修正したものです。例えば、つくばセンタービル1階には市民窓口も設置する予定でした。でも、「このような利用機会の多い施設は、より駅に近く、訪れやすい場所にあった方が便利」という意見があり、BiViつくば2階の交流サロンがある場所に変更したんです。また、センター広場西側にエスカレーターを設置する予定でしたが、市民窓口の設置場所を変更したことで、エスカレーターの利用者がある程度減ると見込まれたことや、「デザインへの更なる配慮が必要」という意見を踏まえ、設置を取りやめました。

改修計画の主な変更内容(2021年12月)

市民窓口の場所をBiViつくばへ
つくば駅に近いBiViつくば2階に変更。

エスカレーターなどの整備を取りやめ
市民窓口の設置場所の変更や、デザインへの更なる配慮から、エスカレーターやスロープなどの設置を取りやめ。

ノバホール横の1階大通路の保全・活用
大通路のデザインに配慮して大幅な改修を取りやめ、空調や照明を設置し、自習などに利用できるフリースペースとして整備。

